

キンスポ

2輪専用サーキット
近畿スポーツランド
情報発信紙
秋号(第11号)
Tel(0774)88-3633
http://www.knspocm

**決定! 2017
KSLガール**
皆さんよろしく
お願いします



●相原
かなみ



●相原
みなほ

2017 小西記念近畿スポーツランドロードレースシリーズ 第2戦 レジェンド小西良輝氏も来場! M-1GPは遂にあの男が初優勝!

8月7日(日曜日) 夏の中の夏!そんな時期に行われる小西記念第2戦! 元全日本RRチャンピオンで近畿スポーツランド名誉会員である小西良輝氏も駆け付けてくださり開催された小西記念。全16クラス 15レースの熱い戦いが繰り広げられた。なんとこちらも最終レースのM-1GPクラスは雨が降り出し、タイヤ選択が勝負の行方を大きく左右するレースとなり、天候を味方につけた選手が上位の争いを展開し、なんと苦節13年! 過去何度も優勝のチャンスを「ごとく逃してきた奇人」とりおギャクシーが今頃、(笑)悲願の優勝を遂げた。これには会場も驚きと大きな歓声に包まれ、会場の盛り上がりは最高潮に達した。レース終了直後に猛烈な雨が路面をたたきつけ、各選手の喜怒哀楽が夏の天空にこだました。



トピックス

レンタル倉庫運用開始!

待望! 10月1日より、レンタル倉庫が突如登場! キンスポ敷地に突如登場! 10月1日より、レンタル倉庫が突如登場! キンスポ敷地に突如登場! 10月1日より、レンタル倉庫が突如登場! キンスポ敷地に突如登場!



BOSCO MOTO レンタルギア
レーシングスーツ・ブーツ・グローブの貸し出しスタート!

ベリック・アレンネスブランドの購入を検討されている方で実際の着心地を試したい方初心者の方やレースを始めたいけど未だ購入されてない方一度サーキット走行を体験したい方、ツナギを修理中の方、ツナギを忘れた方、エンジョイ系レースに参加したい方、体験走行企画の参加者の方やツーリングイベントやレース体験イベントの参加者等々...お気軽にご利用下さい。詳しくはHPを! ご予約・お申込みは お電話で! 0774-88-3633

●特集！ 27年目！日本最年長のライトバイクレース

ルーツザ原チャリの軌跡

近畿スポーツランドで開催されるバラエティー豊かな各レースの中でも極めて特徴があるレースと言え、ご存じのルーツザ原チャリだ。最新式の装備を搭載し順位を競うレースとは一線を画し、ユニークでバラエティー豊かな旧車や低馬力車を中心とした車両で、最新の計測システムをあえて使わずに、距離計での順位計測、そして参加者が楽しむためにつけられる絶妙なハンデなどが特徴で、近年全国で開催されている参加型レースのパイオニアレースがルーツザ原チャリだ。今回は日本で単一主催者によるライトバイクレースで、最も古い歴史を持つルーツザ原チャリを主催する、はっぴいえんどプロジェクトの森田政治さんにインタビューを試みた。



主催者プロフィール



主催者インタビュー

●単一主催者で現行のライトバイクレースではおそらく一番歴史のある大会だと思いますが、ルーツが始まったのはいつですか？

★ルーツ初開催は1991年です

●また今年で何年目、何回開催されましたか？

★今年で27年目になり、6月の不定期特別開催を除けば春・秋の通常開催数は54回目になります。

●キンスポで開催されて何年になりますか？

★近スポでの開催は2005年からです。

- ・氏名 森田政治 ・年令 58才
 - ・出身地 大阪府八尾市
 - ・職業 カスタムペイント&モータースポーツ運営企画
 - ・特技 ノコギリ演奏
 - ・レース歴 38年と少々
 - ・好物は満月ポンとビール
- 1980年鈴鹿サンデーロードレース
プロダクション125ccランキング1位
現在、MFJロードレース2級役員及び講師



●何故、低馬力や旧車のハンデレースを主催しようと思われたのですか？

★1991年当時、バイクブームの真つ最中でしたが既にそれが過熱し過ぎの兆候も出ていて、気軽に若い人達が低予算で楽しめるレースや大人が若い頃を思い出しながらワイワイ集める運動会のようなレースが必要かと思つたのがきっかけですね。またそれにはボウリングやゴルフのような「ハンデ」を組み込むのがベストとも思いました

●当初は名阪スポーツランドで開催されていましたが、創設当時の苦労や大変なエピソードがあれば教えてください。

★特に苦労した覚えは余りないのですが、それまでには無かつたハンデレースの趣旨を理解してもらうまで時間がかかりました。また既にレースをしている人を対象としていないので、レーシングスーツはおろか、フルフェイスヘルメットも持つてない人が参加したいけど？どうしたら等の問い合わせがよくありました。

●今までに主催でつらかつたことは？

★レース自体に辛い事はありませんがレース前日に四国沖で発生した低気圧が急速に台風へ発達してそのままコース直撃テントやコントロールタワーが吹っ飛んだり寒冷前線の影響で季節外れの雪が降ったときは大変でした。

●主催する中でうれしかつたことは？

★嬉しかつた事は以前にルーツ・ザ・原チャリに参加した方がオートバイに興味を持ち、東西問わず有名用品店やメーカーに就職しましたと後々、連絡を貰える時には「レース主催」をやつていて良かったと思えます。

※写真引用サイト

<http://30d.jp/printarou180/70>

●時代と共にレース環境も車両も変化していくと思いますが、これからの抱負や課題、などあればお願いします。

★既に27年前に旧車だった車両は立派にクラシックと呼べる年数のマシンになつてしまつたり、純正パーツと共に2サイクル車の歴史を刻んだ誰でも所有し、乗つたことのある懐かしい50ccや低馬力原付で参加できる運動会レースをベテランも気が及びレース運営ができればと考えています。

●森田さんお忙しい中本当にありがとうございます。これからも末永く日本のバイクレースの基礎の部分！そして文化の継承のために益々のご活躍を期待しております。



「サーキットを走りたい」「レースに出てみたい」ゼロから始めるモータースポーツ!
バイクも・ツナギも全て込み込み! 手ぶらで参加OK!

KSL Start Up Seminar

近スポ・スタートアップセミナー さあ、新しい世界への扉を開けよう

サーキットを走れるバイクがない…ツナギもない…でも、サーキットが走りたい!! レースしてみたい!! いったいどうしたらいいの…そんなあなたを応援する全く新しいタイプのセミナーです。バイクが初めての方もクラッチミートからライン取りまで丁寧にレクチャーいたします。ツナギだけでは満足できない現役ライダーさんも大歓迎です!!



講習車両：ホンダAPEX FI



スケジュール

9:00~	受付 朝飯 朝飯会場へバス走行	10:00~	【説明】 練習場で基本乗車 朝飯 朝飯会場へバス走行	11:00~	【説明】 サーキット走行講習	12:00~	【説明】 本コース走行(初心者専用)	12:30~	終了ミーティング
-------	--------------------	--------	-------------------------------	--------	----------------	--------	--------------------	--------	----------

参加資格

- モータースポーツを始めたい気持ちがある方
- 身長135cm以上の健康な男女
- 近畿圏在住の方
- レンタルバイクが着用可能な体型の方(S-M-L-XL-XXL)
- サーキットマナーを理解できる方
- 講師・スタッフの指示にしたがえる方
- 契約書の読み取りに同意できる方
- KSL安全保険に加入していただける方
- 車検、自賠責を済ませた場合のみ実費負担できる方
- 運転免許がなくてもご参加いただけます
- バイクが初めての方もご参加いただけます

参加費用 20,000円(車検・自賠責・走行代・保険含む)
 デザインT(保証金) 10,000円
 デザインTは講習終了後に返還されます。ただし、破損や汚れがひどい場合は返金額が減少する場合があります。また、返還時にTのクリーニング費用がかかります。返金額はTの状態により異なります。詳しくは説明書をご覧ください。

持ち込み装備 (上記金額より)
 ヘルメット 2,000円引き
 レーシングスーツ 4,000円引き
 レーシングブーツ 1,000円引き
 ●レーシンググローブ 1,000円引き
 ※持ち込み装備は近畿スポーツランド走行資格を満たしているものに限りです。詳しくは下記をご確認ください。

専任講師 古澤幸也(ワルザウ ユキヤ)
 21歳、京都府出身、東京国際大学卒業。学生時代から競速レースに没頭。競速レースの経験から、競速レースのノウハウを伝授。競速レースの経験から、競速レースのノウハウを伝授。競速レースの経験から、競速レースのノウハウを伝授。

近畿スポーツランド公式 開催日：毎月2日(土)近畿スポーツランドにて開催(雨天中止) 定員：2名限定 お申し込み・お問い合わせで 詳細 開催日1週間前 KINKI SPORTS LAND TEL:0774-88-3633(9:00~17:00)受付中

KSLスタートアップセミナー概要

参加資格

- 身長135cm以上の健康な男女
- 未成年の方は親権者の承諾が必要です
- サーキットマナーを理解できる方で、講師・スタッフの指示にしたがえる方
- レンタル装備が装着可能な体型の方。S・M・L・LL
- バイクレースを始めたい気持ちのある方
- 誓約書の免責事項に同意できる方
- KSL安全保険に加入していただける方。
- 車両施設を破損した場合実費弁済できる方。

総参加費用 20,000円

(車両代・装備費用・講師費用・走行費用・保険代含む)
 保証金10,000円 ※ 保証金は講習終了後に返還されます。但し、車両や装備を受講者の責任で破損した場合は清算金の一部に充当されます。転倒による軽度な傷は上記に含まれません。

持ち込み装備 (上記金額より)

ヘルメット2000円引き レーシングスーツ4000円引き
 レーシングブーツ1000円引 ●レーシンググローブ1000円引
 ※持ち込み装備は近畿スポーツランド走行資格を満たしているものに限りです。詳しくは下記をご確認ください。

<http://www.kinspo.com/annai.php> (走行着用装備参照)

●スケジュール

- 8:00 受付 装備・装具・車両準備
 - 9:00 (実技) 練習場で基本乗車
 - 開始・発進・制動・入の字走行
 - 11:00~サーキット走行講習(座学)
 - 12:00~12:30
 - 初心者枠にて本コース走行
 - 12:30~13:00 終了ミーティング
- ※状況・習熟度により変更される場合があります

開幕戦10月29日(日)開催!

KTC杯 近畿スポーツランドロードレースシリーズ 2017 最終戦

初心者歓迎! チャレンジクラス開催!

限界まで! 立ち上がり!!!

●チャレンジクラス新設!

●新計測システム始動!



☆ネット・現金書留・事務所

最終エントリー締め切り10月22日(日)迄!

近畿スポーツランド公式ホームページからエントリーできます!

☆夢中になれるから楽しい! 悔しいから上達する!

スプリントレースしませんか?

ホームページ <http://www.kinspo.com/>

KINKI SPORTS LAND ROAD RACE SERIES 2017
 近畿スポーツランドロードレースシリーズ2017
 2017
 おかげさまで13開催
RISE UP
 to the limit
 Kinki-RR 2017
 一限界まで立ち上がり!

R1 4/16 J-TRIP杯
 R2 8/6 小西記念
 R3 10/29 KTC杯

2017年度より新システム「MY LAP」(マイラップ)導入 開催スケジュールはこちら 詳しい情報は事務局 or website まで

近畿スポーツランド 近畿スポーツランド TEL:0774-88-3633



観戦歓迎! 入場料中学生以上お一人500円必要です m(_)_m



第13回 北川圭一杯

2013年の初開催から今年で13回目を迎える。元JSB全日本チャンピオン、世界耐久王者の北川圭一は主催する北川圭一杯が今年も12月3日(日曜日)に開催される。

ここ近年、年々盛り上がりを見せ、昨年は総エントリー台数101台、230名という参加者で会場は超満員で埋め尽くされた。今年もヨシムラのエース津田拓也選手をはじめ全日本の有名ライダーを多数ゲストに迎えて開催予定だ。また、今年も北川圭一が長年使用したアドレSV125から、**ススキのフルサイズミッション付きマシン**での本人の参戦の計画もあり、さらに盛り上がりをも魅せそうだ。

レースはライダーレベルにより2時間耐久が3レース開催され、エンジョイ耐久A/B(初心者対象) B耐久ノーマル(中級者対象) A耐久ノーマル S P O P 2500(上級者対象)と誰もが楽しめる内容となっている。また、エンジョイ耐久とB耐久はタイム制限が設定されており、ペナルティタイムを切ると青汁やワサビあられなど楽しいアトラクション、ペナルティもあり和気藹々としたレースの雰囲気を楽しめる。エントリーは近畿スポーツランド公式HPからエントリー可能だ。

詳しくは近畿スポーツランド公式HP
北川圭一杯 特設サイトまで

<http://www.kinspo.com/K1cup2017/index.php>



SUZUKI

世界耐久チャンピオンとミニバイクレースを楽しもう!
ゲストライダー多数参加! 楽しいイベント盛りだくさん!
初心者から上級者まで大満足のミニバイク2時間耐久レース!!
スターティンググリッドは申込先着順! 各レース40分実走

3レース開催!

- 初心者対象** **エンジョイ耐久** (2時間耐久)
 - 1. エンジョイAクラス (1000cc以下)
 - 2. エンジョイBクラス (1000cc以下)
- 中級者対象** **B耐久** (2時間耐久)
 - 1. ノーマルクラス (1000cc以下)
- 上級者対象** **A耐久** (2時間耐久)
 - 1. ノーマルクラス (1000cc以下)
 - 2. SPクラス (1000cc以下)
 - 3. OPクラス (1000cc以下)
 - 4. 2500クラス (1000cc以下)

参加費 18,000円 (2名分/全クラス)
ライダー追加 1名 2,000円
1台のバイクにライダー4名まで参加できます。
※各レース40分実走、1レース1台1人制です。
※各レース40分実走、1レース1台1人制です。

第13回 北川圭一杯 ミニバイクレース2017

12/3日 近畿スポーツランド

北川圭一杯ミニバイクレース2017
〒599-0201 近畿スポーツランド 近畿サーキット
TEL 0774-88-3633
〒599-0201 近畿スポーツランド 近畿サーキット
TEL 0774-88-3633
http://www.kinspo.com/

スズキ、Auto Rinnas、Arai、DUNLOP、KTC、J-TIT、MotoNet、KSL、KSR

MOTARD & ROAD MIDDLE CLASS

2017新設! **モタード&ロードミドルクラス**

特別走行枠設定

J-TRIP杯 各クラスレポート

●チャレンジクラス

初心者対象に設定された制限タイム5.1秒までのチャレンジクラス。初戦は不成立となったが、4台での決勝レースとなる。人生初レースとなるだろう2番グリットの若干1.0歳の山本はクラッチミートが上手くいかず、出遅れてしまった。一方、APE山本・NSF杉本・カブ渡邊は綺麗にスタート！スタートこそミスし最下位まで落ちてしまったNSR山本だが、1周目を帰ってくるころには怒涛の追い上げで2番手まで挽回している！ここから山本対決が勃発する！3周目にリトパコナーをクロスラインで立ち上がり、NSR山本がAPE山本を見事にパスし、TOPに躍り出た！しかし、すぐさまストリートエンドのブレーキングでAPE山本が前に出ることが出来、TOP奪還に成功！爺と孫ほど年齢が離れている両者だが、お互い死力を尽くし、全力でレースをしている！少しペースが落ちてきたNSR山本にスパートを仕掛け、アドバンテージを築くことが出来たAPE山本が、見事に振り切りトップでチェッカーを受けた！

●ルーキークラス

制限タイム4.8秒のルーキークラス決勝
11台での決勝。ポールの道中が出遅れ、3番グリットの内田がいきなり転倒してしまう中、4番グリットの中西が1周目からトップを快走！2番手には女性ライダーの河田、3番手に6番グリットの稲田が大きく順位をあげた。4周目にスタートで出遅れた馬崎が稲田をかわし3番手に浮上した。結局中西が1位でチェッカー2番手には河田、3番手に馬崎が入賞を果たした。



優勝 中西 達也



2位 河田 優枝



3位 馬崎 光浩



優勝 山本 芳久

●SP17クラス

今大会の特別開催クラスSP17。GPクラス参戦中の津田vsM1クラス上位者の前潤との一騎打ちになるかと思われたが、予選2番手に割って入ったのは、不思議ちゃんこと前田伸一だ！ホールショットは津田が取り、するすると上がってきた4番グリットスタートのゴルド永田が2番手に浮上している。3番手は前伸、4番手は前潤だ！以下、住友・ハタデン社長のオーダーで1周目を消化。3周目に前伸が1コーナーで永田を捕えたかに思われたが、クロスラインで2コーナーでは永田が2番手をキープするが、ワイドラインになり前伸にクロスを掛けられ、3番手に後退。4番手だった前潤も加速が鈍った永田をKTCで抜き去る。膠着状態の中、レース8周目に前潤がレースベストを記録し前伸を捕え2番手に上がる。さあ津田と決着をつける時が来たかと思われたが、前伸の調子が抜群にイイ！拮抗するレベルの中で最終コーナー手前でのパスは容易ではないが前潤をあっさり抜き去った。トップ争いをしたい前潤だが、2番手の前伸とバトルとなり津田と勝負が出来ず、チェッカーを迎えてしまった。見事、一度もトップを譲ることなく去年の雪辱を果たした津田が優勝！2位前田潤となった。



優勝 津田 徹



2位 前田 潤

●M13クラス

制限タイム4.6秒の激戦クラス今回は13台での決勝スタート
素晴らしいロケットスタートを見せたのは2番グリットの女性ライダーの紗由選手！が、1コーナー付近でのアクシデントにより赤旗が掲示され、仕切り直しのレースに、再スタート！集中力を切らさずにまたもや紗由選手がトップに！2番手にポールの中西、3番手にベテラン河田、以下川端、吉川と続くペースの上がらない中西を4周目に河田が捉え2位浮上する。並みいる男たちを押さえ最終トップを走り続けた紗由が見事に初優勝！2位に河田、3位中西、そして怪我で出場が危ぶまれたベテラン吉川が4位入賞を果たした。練習の成果を発揮した紗由選手に大きな拍手をおくりたい。

●ジェネレーシヨンクラス

オーバー40歳限定の制限タイム4.5秒までのジェネレーシヨンクラス。予選は無く、若造は後方グリット、人生の先輩は前方のグリットを獲得でき、年齢順にグリットを決定する。今回はレディースクラスと包括開催となり、レディースファーストの女性が前列グリットで全13台の決勝レース。ホールショットを獲ったのは、男どもを喰ってやると息巻いていた榊原だ！もう1人の女性ライダー河田と吉川は、後方に沈んでしまった。1周目をトップで通過したのは榊原！続いて松本・春ちゃん・小松・上久保の5台でトップ集団を形成している。トップを快走していた榊原だったが、リトパコナーがワイドになり、松本・春ちゃんにパスされ3番手に後退。後ろで様子を見ていた小松が春ちゃんのミスもあつたがS字で2番手まで浮上し、勢いそのままに翌週の3コーナーでトップを走る松本を交わしトップに躍り出た！ファーステストLAPを叩きだし後続の追従を許さず、TOPでチェッカーを受けた！最終周までもつれた2位争いは、最終で松本のインを春ちゃんがつき2位でチェッカー。最後のチャンスを伺っていた上久保が加速勝負で3位に！松本は4位まで後退し、表彰台が見えていただけに悔しい結果となった。



優勝 紗由



2位 河田 弘毅



4位 吉川 朋史



3位 中西 隆



優勝 小松 健治



2位 春ちゃん



4位 松本 朋彦



3位 上久保 学

●M12クラス

制限タイム45秒 M系4クラスの中核を占める選手層の厚いクラス！こんかいも18台のエントリーでのレース！ 混戦模様のオーブンングトップで帰ってきたのは4番グリットの田内！ポールの上岡は2番手、ベテラン春ちゃん3番手以下小松、田中、佐々と続く・・・3周目1コーナーで上岡が田内のインを突き、トップに！4周目ペースの上がない田内に今度は春ちゃんが前に出て2番手に浮上！また、混戦模様の第2グループでは出遅れを取り戻した西濱や田中も徐々に順位を取り戻した。見事に上岡が終始安定した走りで優勝！2位に春ちゃん、3位西濱、4位田中、5位にベテラン小松が入賞を果たした。



優勝 上岡広樹



3位 西濱和良



2位 春ちゃん



5位 小松健治



4位 田中孝寛

●Motof4クラス

4ストミッドレンジストック車両限定のチャンピオンシップ！キンスポが次世代のメインクラスに考えるクラス
今回は6台でのレース。やはり期待ナンバーワンの高校生ライダーの森田と鹿兒島から遠征の小学生ライダー彌榮の一騎打ちに注目が集まる！レーススタート！
ホールショット森田！しかしスタートが課題と思われた彌榮も克服し、森田にピタリと食らい付いた！3番手は初代チャンピオンの布施川！そして2周目直線から1コーナーで彌榮が森田のインを突き、トップに浮上！しかし森田も落ち着いた走りで彌榮を逃がすまいと激しいプレッシャーをかけた続ける！正に息をのむ展開！7周目再び森田が1コーナーのブレーキングで競り勝ちトップに浮上！そして、運命の8周目、1コーナーで巻き返そうとインをついた彌榮が痛恨の転倒で勝負あり！森田がチャンピオンに大手をかける2連勝を果たした。2位に布施川、3位田内が表彰台を



優勝 森田勇希



2位 布施川澄

●CBR250ドリムカップ

ドリムカップ出場をかけた争いのCBR250ドリムカップ今回も少し寂しい台数となった。久々参加の吉田隼がスタートからトップに見事ポールトゥウィン！ 最近乗り始めたがメキメキ実力を伸ばしつつある中川涼も吉田にくらいつこうとするが、確実に2番手を走り切りチェッカー。そして、唯一ビギナーエントリーでエキスパートと混走となったまっちゃん事、松田選手もしっかりと完走してくれた。キンスポで速けりやどこでも通用するはず！新たなる参加者をお待ちしています



優勝 吉田隼



優勝 松田善隆

●GROM

今年度より本格開催のHRCグロムカップ！徐々に台数も増え今回は9台でのレース。ポールの楠がレース序盤から快調にトップを快走！ミニモトで鎖骨を骨折し、復帰したもののベテラン後藤も何とか食い下がろうと果敢に攻めるが、やはり本調子ではなく、唯一43秒台で快走する楠との差を詰めることが出来ない。3番手争いは、ばにばに、秋田、上久保、河野が接近戦で激しい争いに・・・結局楠が終始トップで貫禄の2連勝！我慢のレースで後藤2位、激しい3番手争いはファイナルラップに見事に秋田を捉え河野が表彰台を獲得した。



優勝 楠 貴裕



2位 後藤憲治



3位 河野弘樹

●FN4&FPクラス

今回は10台のエントリー。ホールショットは、なんと4番グリットの下瀬が抜群のスタートで獲得。しかし、すぐさま富士山帰りで予選1位の不死身死神がトップを奪いとる。1周目は、死神・下瀬・民谷・三浦・永田・望月・中尾のオーダーで消化。予選2位の三浦が2コーナー進入で転倒し戦線を離脱してしまう。民谷が2番手に浮上し、死神と民谷の2台で後続にアドバンテージを築いていく。少し離れて、下瀬・永田・中尾の3台で3番手争いを形成。トップ2台はテールツーノーズ牽制している。4周目、民谷が死神を捕えTOPに踊り出るが、6周目にはブレーキングで死神が取り返す展開だ！2人のマッチレースになるかと思われたが、いつの間にか下瀬が3位集団から抜け出し、トップ争いに加わってきた！レース終盤、三つ巴の中で下瀬は2番手の死神をパスすると勢いそのままトップの民谷をも1コーナーで捕え、ファイナルラップを迎える！民谷は一度はトップの座を明け渡したが、ブレーキングで下瀬のインサイドに入りパスすると、後はキッチリ抑え込み見事2連勝に輝いた！2位に負けはしたが大健闘の下瀬、3位は富士山登山からそのままレースを走った死神となった。



優勝 民谷賢司



2位 下瀬達也



3位 死神博士

●FP41ST ビギナー

今回特別開催で行われたが少し寂しい4台でのレース
毎週のように練習に励んでいた最年長のベテランライダー小池がポールでスタートするも、出遅れてしまい、渡辺がホールショットでトップに！小池もピタリと渡辺に食らい付き、渡辺のスキを伺いながら何度もトライするも中々前に出れずいたが遂に6周目1コーナーから2コーナーで渡辺を捉え、一気にスパート！練習の成果を見事に発揮し、1位でゴールした

●M1クラス

群雄割拠！、M1クラス。レース！ポールは静岡から久々の参戦！守田が獲得した。緊張のスタート！守田がトップ！2番手はベテラン大林、3番手はハタデンの飛び道具！前田伸以下Mrポポ、ゴールド永田、予選2番手のジュニアの堀井は集団に飲まれ6番手に、守田はハイペースで逃げる。2番手争いは大林と前田の激しいバトルに、4番手争いはMrポポ、永田、魚谷のバトルへ・・・各所でM1ならではのドックフアイトが繰り広げられる中、レース中盤大林が炎の追い上げを開始し、トップの守田に徐々に迫る！8周目に少し取り残された感じの3番手前田が2コーナー入り口で、痛恨の転倒を喫し、表彰台を逃す(汗)大林の中盤からの猛追も後半は体力の限界か？4ストの熱ダレか勢いを失い守田がポルトゥウイン！2位大林、3位はさかな君事、魚谷が表彰台を獲得し、M1GP参戦権を得た！惜しくも4位は17インチのワールド！5位に後半何とか追い上げた堀井が入賞を果たした。



優勝 小池 覚



優勝 守田 哲



2位 大林義紀



4位 ゴールド永田



3位 魚谷隆太



5位 堀井 颯太

●NSF100HRCトローフィークラス

NSF100HRCトローフィークラス。今大会は8台で決勝レースが行われた。ホールショットは持ち前の加速力で森田が獲った！2番手マオ号・3番手鏑田・4番手鈴木順だ！以下、岡村・後藤・橋爪・松本と続く。3番手の鏑田は久しぶりの近スポRR参戦で、いいスタートが切れたようだ。予選通りトップ2台が逃げ、森田とマオ号が一騎打ちのバトルに発展していく。実力は二年先輩のマオ号が頭一つ抜けて出ているが、マオ号はスイッチが入らないと実力通りの力が発揮されない。ま

た夏場の暑さに非常に弱い少年だ！一方森田は、今年からNSFにステップアップしKSLライディングセミナーで講師の志村から指導を受け、兄の背中も見て最近力をメキメキと付けてきている。そんな両者の一騎打ちだが、膠着状態が続いている。マオ号は動く様子が見られない。トップを走る森田は、必死で走るしかないが、非常にマオ号の気配が不気味である。レース後半、1コーナーのブレーキングでラインを変えていくが、パスを仕掛ける気配がない。残り周囲もない。気付けば、もうファイナルラップだ！森田は必至で逃げる。前だけを集中してみんなが待っているホームストレートに帰って来た！終始トップを守り続けた森田孝希が嬉しい優勝に輝いた！2位は手も足も出せなかつたマオ号となつた。両者は同ポイントで最終戦を迎える。チャンピオン争いが非常に楽しみだ！



優勝 森田孝希



2位 マオ号

●OPクラス

SP仕様のマシンのエンストリーも複数あり近年では過去最高のエンストリー台数15台でのレースとなり、徐々に盛り上がるOPクラスポールは第1戦に続き2連勝を狙う布施川が番長UNO-Pを押さえ抜けるスタート！テンション最高潮の布施川が抜群のスタートを魅せ、トップを快走！対象的に番長UNO-Pは出遅れ3番手に2番手は島田、4番手畑、5番手に17インチSPの、これまたテンション男の前田潤(＠ただ今、怪我療養中お大事になさってください)、以下、田村、ジュネット岩倉、中島、と続く・出遅れた番長も島田を捉え2位に浮上！しかし今日の布施川素晴らしい集中力で単独トップに快走を続ける！5周目1コーナーで前田潤が島田を捉え、3位に浮上！番長も意地でも死に布施川を追うが、今日の布施川はドーパミンとアドレナリンのバランスが壊れ、エンストルフィン出まくりで逃げに逃げ見事にトップで、チェッカー！！！！番長2位！！！！んかっ！！！！フィニッシュした布施川のペースが下がらない・・・？布施川が壊れた！おーい布施川君！！！！ペースダウン！ペースダウン！なんと布施川テンションの上がりすぎて、チェッカーに気づかず痛恨の！痛恨の！痛恨の！ダブルチェッカー！場内騒然・・・ピットに呼び出し2順位降格が伝えられ、しょぼく〜んという事で優勝はUNO-P 2位に前田、3位に布施川、4位にはなんと最後尾グリットからしこしこ追上げたMrポポが入賞を果たした。

●M1GPクラス



優勝 UNO-P★



2位 前田潤



4位 Mrポポ



3位 布施川 澄

天が見方した者、天に見放された者、それぞれのレース人生の中で忘れられないレースの一つになったハイエンドクラスM1GP決勝！いよいよ夏の小西杯最後のレースの進行が始まるころにパラパラと雨が降り出した。天気予報のレーダーには豪雨の紫色の表示がずっとそのまま・・・コースはほんの濡れ始めるが、決勝の時刻は一刻と迫ってきた。各選手天気を読み、究極のタイヤ選択を迫られる状況になった。そして明暗を分けるタイヤ選択が明らかになった。有力ライダーのタイヤ選択は？王者UNO-PやASIMOはなんとフロントトレイン・リアドライブを選択。森田、鈴木、とりおは前後ドライブを選択。彌榮、津田は前後レインで豪雨を信じ勝負に出た。各車グリットに整列する中、1台のマシンがグリットに乗り遅れた。ギリギリまでタイヤ選択に悩んでいたさる先生だ！雨が苦手な彼は悩みに悩んでいるうちにタイヤ交換に遅れ、痛恨のピットスタートを余儀なくされる。益々アスファルトは運命の雫で黒く変色していく・・・波乱の予感に満ちた空気が充満する中、いよいよ運命の決勝の幕が上がった。スタート1コーナーホールショットはやはり番長UNO-P★、2番手とり以下森田、彌榮、鈴木、ASIMO、津田と続く・・・いつものようにUNOが逃げるのかと思われたが、タイヤが温まるにつれ、ドライブのトリ、森田のペースがよく、ハイブリット選択の番長のペースが思ったほど伸びない！そしてレイン選択の彌榮は待ち焦がれた本降りが中々こないのペースを上げられない様子。そして17インチの津田は3周目あたりから車両の挙動がおかしくなり、どんどんペースが落ち始め無念のリタイヤとなつてしまふ。こうなるとドライブ選択のイケイケの2人、とりおと森田の勝利への大チャンス到来！番長UNO-Pを激しく追従する。番長トップ、森田2番手、3番手とりのトップ集団が形成され、4番手争いは彌榮、鈴木、ASIMOだ。しかしレイン選択の彌榮は非常に厳しい戦いで、ついていくだけで精いっぱいだが体重の軽さがタイヤの負担をおさえたいのか何とかセカンドグリブに居るがこれ以上の上位は狙えない様子だ。そして、遂に9周目に森田がUNO-Pを捉えトップに立つ！森田、宇野、トリの三つ巴の戦いは運命の10周目の1コーナーで3ワイドで1コーナーに・・・立ち上がりで3台接触！UNO-P転倒！！！！そして直後の3コーナーで、先ほどの接触で森田の右ハンドルが内に入り転倒！

非常に不運なリタイアになった。この波乱のレースを制したのは、13年間みんなの期待を裏切り続けた奇人ライダーの代名詞！トリオギャラクシーが奇跡の！悲願の！偶然の！初優勝を飾った！これには場内悲鳴に近いどよめきと盛り上がりの中、夏の暑い、熱い一日が幕を閉じた。2位にドライ選択の鈴木が見事2度目の表彰台。3位に新星のASIMOがハイブリット選択ながら初表彰台を獲得した。そして4位彌榮、5位にUNO—P★が入った。のちにわかったことだが、なんとUNO—P転倒で、フロントブレーキが折れた状態で2周走り切りの5位！これには彼のチャンピオンにかける執念を見た。なんとレース終了直後、ウイニングランを中止に追い込むほどの雨が地面をたたきつけた。なんたる皮肉！タイヤ選択が勝敗に大きく影響した今回のレースだった。レース後トリオギャラクシーのコメントは周囲を唖然とさせた。「レインタイヤ？もってきでないすよ〜。だって交換めんどくさいですよん」ORZ



優勝 トリオギャラクシー



2位 鈴木悠大



3位 ASIMO



4位 彌榮 郡

小西記念 フォトスナップ



シリーズ飛翔 (若人よー時代は厳しいがなんとかはだけ！VOL9)

●氏名 岩戸亮介 (20歳) 国際ライダー

●出身 福岡県宮若市

●職業 レース兼チームのバイク屋でのアルバイト

●所属チーム Team高武RSC

●参戦レース 全日本ロードレース選手権 J.GP2クラス

2017 鈴鹿8耐

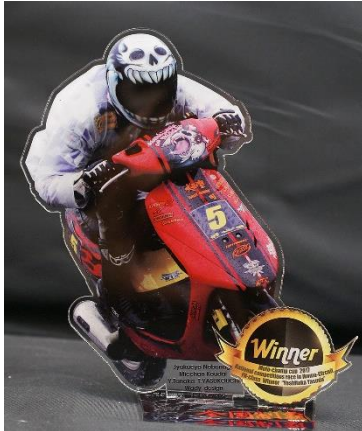
●キンスポについて キンスポでお世話になった皆様が大好きです！

●自己PR 2017年はJ.GP2クラスに参戦し、鈴鹿8耐にも参戦させていただきました！残念ながら今年は優勝どころか表彰台にも登れていませんが、あのキンスポに通っていた時のように一生懸命攻めていきたいと思えます。応援宜しくお願い致します！

●小学生時代に遠く九州福岡から08〜10キンスポ杯へ参戦していた岩戸選手2009年NSF100HRCトロフィーのキンスポ年間チャンピオンを獲得！さらに第2戦M-EX(現MGP)で優勝している。初めて訪れた時から非凡な才能を見せつけ、NSFでいきなり42秒台を記録し、地元勢を驚かせた。またそのころから礼儀正しく、マナーも最高で、心技体を兼ね備えたライダーでキンスポでも周囲から非常に愛された。今後もさらなる彼の飛翔に期待したい！がんばれ！亮介！！



キンスポ杯 ライダーファイル VOL15



●プロフィール

氏名 死神博士

年齢 10047歳らしいです(社長が数えてるとか・・・)

趣味 夕日を眺めながら涙すること(まあいっぱいあるということ・・・)

職業 死神(ゲゲゲの鬼太郎の死神の回は恐怖でした・・・)

好きな食べ物 魂(たぶん・・・)

特技 3歩歩けば、物忘れ(老眼と共にひどいので、重要事項は何度もご確認を・・・)

●本人コメント 近寄りたがたい雰囲気も今は昔。とってもフレンドリーなはずなので、お気軽にお声かけください。きっとバイクの事を色々聞くと、B型特有のアウト感満載すぎて神経質な方は迷います(笑)なんていいながら、出没に関しては超レアキャラなんですけど・・・よろしく願い致しますー

●キンスポを語る上で、欠かせない人物で、近年のキンスポ運営に大きく影響を与えた人物。先日、某全国大会で10047歳にしてFNクラスを制した人物で、現役にしてもはやレジェンドライダーである。心技体すべてを兼ね備えたライダーで、業界に与えた功績は計り知れない。また、若手の育成にも日々尽力している。

アユム！ 元気に回復中！

アジアロードレース選手権 スーパースポーツ600クラスに参戦していた田中歩選手が第4戦インドネシアでプラクティス中に転倒し負傷しましたが、若さか？驚異的な回復を見せ、現在三重県の病院で、日々リハビリに励んでいます。すっかり元気で、冗談を言い合えるまで回復しています。また、キンスポにも顔を見せてくれるとのこと、皆さんに宜しくとのこと！ほんまに一安心です。



[全日本カブ耐久&サテライトステージ](http://www1.kcn.ne.jp/~happyend/)

[最終戦 11月19日\(日\)開催!!](http://www1.kcn.ne.jp/~happyend/)

<http://www1.kcn.ne.jp/~happyend/>



マイポスターキンスポ事務所で販売中!

キンスポ事務所にて2年ライセンス付MYLAPSのマイポスター販売しております。 ネット上で自分のタイムを完全管理出来る、他のMYLAPSコースでも使用可能です。是非ご検討ください! **キンスポで購入の方には走行割引券を進呈!** (500円)



本体+2年間ライセンス付

¥23,112

年/11556円・1ヶ月/963円

色々販売してます!!



- BS新品・中古タイヤ ●ワコーズ製品
- 純正パーツ ●ゼッケン ●公式ステッカー
- インスタントラーメン (お湯・箸付き)
- 一休お風呂券 ●売店 (阿治力)
- ISAスプロケット

編集後記 やつちゃんの独り言Z VOL11

ども! ついに老眼になり軽いショックを受けている45歳ヤスヒコです。 灼熱の季節が過ぎ、本格的な秋ですね。松茸、栗、芋、さんま、色々おいしい季節です。でもみなさん食べすぎには注意しましょう! 私みたいになりますから(笑)さて、KTC杯最終戦として北川杯と年末に向けてバタバタとしてきた昨今ですが、やはりレース主催はいつもながら本当に骨が折れます。 企画を練ったり、準備や事務に追われ、そしてエントリーや採算の心配。 当日はてんやわんやの運営、レース後もあとかたづけや報告、リザルトの作成等々、本当に手間と時間が非常にかかります。 サークिटとして、練習走行と貸し切りだけでやっていけたら一番楽ですが、採算の厳しいスプリントレースはやはり主催される方も少なく、何よりもサーキット施設がレースを主催できないというところは、日々のスキルの向上にもつながらない、そして何よりレースで頑張るライダーの皆さんの姿をキンスポでいつまでも見ていきたいと思いで何とかやっております。 それにしても今回の特集で、ルーツザ原チャリを取り上げたわけですが、27年にも及び、レース主催を続けておられるはっぴいえんどプロジェクト森田さんは、本当に凄いなと思います。今ではハンデやタイム制限などレベルに合わせてクラス分けされ、皆さんがエンジョイできるレースはあちこちで開催されていますが、その草分けのレースがルーツザ原チャリやサテライトステータスだと思います。その礎を築かれて、さらに新しい事に挑戦し、それを発展させていくことは並大抵のことではないと思います。 正に継続は力なり! です。 時々ですが、かるいお気持ちでレースを主催され、一気に盛り上げて一気に消えていくレースや、他のレースのコピーで、主催されて適当な運営になっていくレースも時々見受けられます。 これからレース主催する方に一言! 簡単ではありませんし、儲かりませんし、情熱が必要ですよ。 テキトーに立ち上げて、業界をかき回すのは迷惑が掛かりますので控えましょう。 あとバクリもほどほどにしましょう。 それぞれの方がそれぞれの意思を持ち、情熱をもって主催されると思います。時々そんな方が現れますね。 私も未だ主催して14年の若輩者ですので、そうならないように日々精進しようと思えます。 幸い私にはアイデアや助言を下さったり、時には厳しく叱責してくれる皆さんに助けられ、何とか続けていけてます。 エントリー台数が全てではありませんが、その姿勢が皆様に支持をいただいで、続けさせていただけに心から感謝申し上げます。 ではKTC杯最終戦でお会いしましょう!! 今回もハイテンションで、盛り上げていきますよ!

押忍!!

(^0^)/なれるより習え! KSLライディングセミナー 受講生募集!!

